

2022/1/10

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(1月3日～1月7日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,189.5	1,204.2	1,187.5	1,201.5	+12.7
JPY/KRW	10.3309	10.4038	10.2931	10.3640	+0.040
KOSPI	2,998.32	3,010.77	2,919.91	2,954.89	▲22.76

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。1,186.9ウォンでオープン後は週末発表の米雇用統計や1月のFOMCでの早期利上げ期待上昇による警戒感から1,190ウォン台までレンジを切り上げた。週半ばも米国ではオミクロン株が経済に与える影響は限定的との見方により過度な警戒感が後退する中、米金利が連日上昇。1,200ウォンを目前に控えた輸出企業のドル売りや当局の介入を意識した警戒感でもみ合う場面もあったが、総じてドル/ウォンは底堅く推移した。週末にかけても、FOMC議事要旨で従来想定よりも早期かつ迅速に利上げに踏み切る可能性があるとの見方が示された他、Fed高官による3月の利上げも可能とのタカ派発言もあって米10年債利回りは結局1.7%台後半まで上昇。結局先週末対比12.7ウォン上昇した1201.5ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや上値の重い展開を予想する。注目された米12月雇用統計は失業率や平均時給の伸びは予想より良好な結果だったものの、非農業部門雇用者数は予想の半分にとどまった。先週には米FEDによる早期金融正常化懸念から米10年債利回りは1.7%台後半まで上昇したものの、このレベルでは水準感から債券市場に買いが入りやすい。よって、米国の早期利上げ観測を背景としたドル買いが進むには新しい材料が必要だろう。今週のドル/ウォンはBOK会合も控えて様子見ムードの中、やや上値の重い展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1185 - 1215	10.20 - 10.50	114.5 - 116.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 11日(火) 韓 11月 国際収支
- 12日(水) 米 12月 CPI
- 日 11月 国際収支
- 韓 12月 失業率
- 中 12月 PPI
- 中 12月 CPI
- 13日(木) 米 1月 失業保険新規申請者数
- 米 12月 PPI
- 14日(金) 米 1月 ミシガン大消費者マインド指数 速報
- 米 12月 鉱工業生産
- 米 12月 小売売上高
- 韓 BOK 政策金利発表
- 中 12月 貿易収支